

## 商店街の活性化に力を注ぐ新潟市上古町商店街振興組合理事

# 変える街の元気印たち

△新潟市の中心部に古くからある古町通3番町の商店街で仲間と洋服などの販売店「ヒッコリーストリートラベラス」を営む。若い発想を生かして商店街の活性化にも力を注いでいる▽

始めました。そのうち商店街の人との交流も増えていきました。ある日、知人に「街づくり推進協議会をつくるので来てみないか」と誘われたのがきっかけです。

△「カミフルチャンネル」と題した地図には、店舗紹介や商店街のイベントが写真などで分かりやすく解説されている。現在も年に数回発行されており、商店街の各店舗のほかに、市内のホテルや観光案内所にも置かれている▽

△今年4月には、新たな試みとして、店の向かいにあった酒屋を改装し多目的スペース「ワタミチ」をオープンさせた▽  
酒屋の息子さんが昨年亡くなって、古くからあった店を閉めることになったと知りました。そこで、自分が何かやってみようと思いました。

## 古町に来るきっかけを

福岡市出身で、大学進学がきっかけで初めて新潟に来ました。卒業後も帰ろうとは思わなかったですね。就職活動はしませんでした。古町通の店で、仲間と3人で自分たちがデザインした絵をプリントしたTシャツの販売などを

△協議会の参加者は、ほとんどが年配の人ばかりだった。協議会は今年1月に同市上古町商店街振興組合に変わった▽

題字は商店街の女性に書いてもらいました。地図のデザインは仲間と一緒に考えています。「なくなったから、ちよくだい」という声もあり、便利と感じてくれる人がいる限り、作り続けていくことが大切だと思っています。

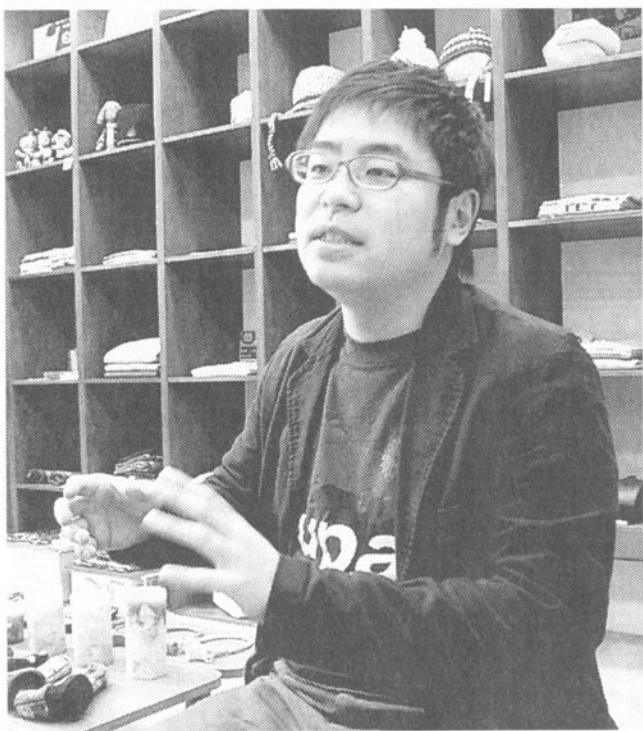
古町に来るきっかけづくりができれば、よく分からないものがあった方がいいんです。

△また5月には、新潟市古町通の古町市場が約60年の歴史に幕を閉じるのを記念した舞踏やコンサートなどのイベントを開いた。多くのマスコミにも取り上げられた▽

メディアに流して商店街のことを多くの人に知ってもらい、楽しいと思ってもらえることをやっていきたいです。

でも「街は」という言葉はあまり好きではないんですよ。僕はただ街の中で遊ばせてもらっているというスタンスです。街の仕事をしようになり、あいさつをする人が増えました。「ありがとう」と言われると、また頑張ろうと思えますね。

### 迫一成さん(28)



「これからも楽しいことをしていきたい」と意気込む迫一成さん—新潟市古町通3番町の「ヒッコリーストリートラベラス」で